

ビジネス支援図書館サービス 全国アンケートの概要

ビジネス支援図書館協議会
図書館総合展 2006.11.21

調査の概要

- 調査主体: ビジネス支援図書館推進協議会
- 調査期日: 平成18年2月28日付回答
- 調査方法: 都道府県立図書館を經由、分室を除く、国内公立図書館に依頼

調査結果 1,045館から回答

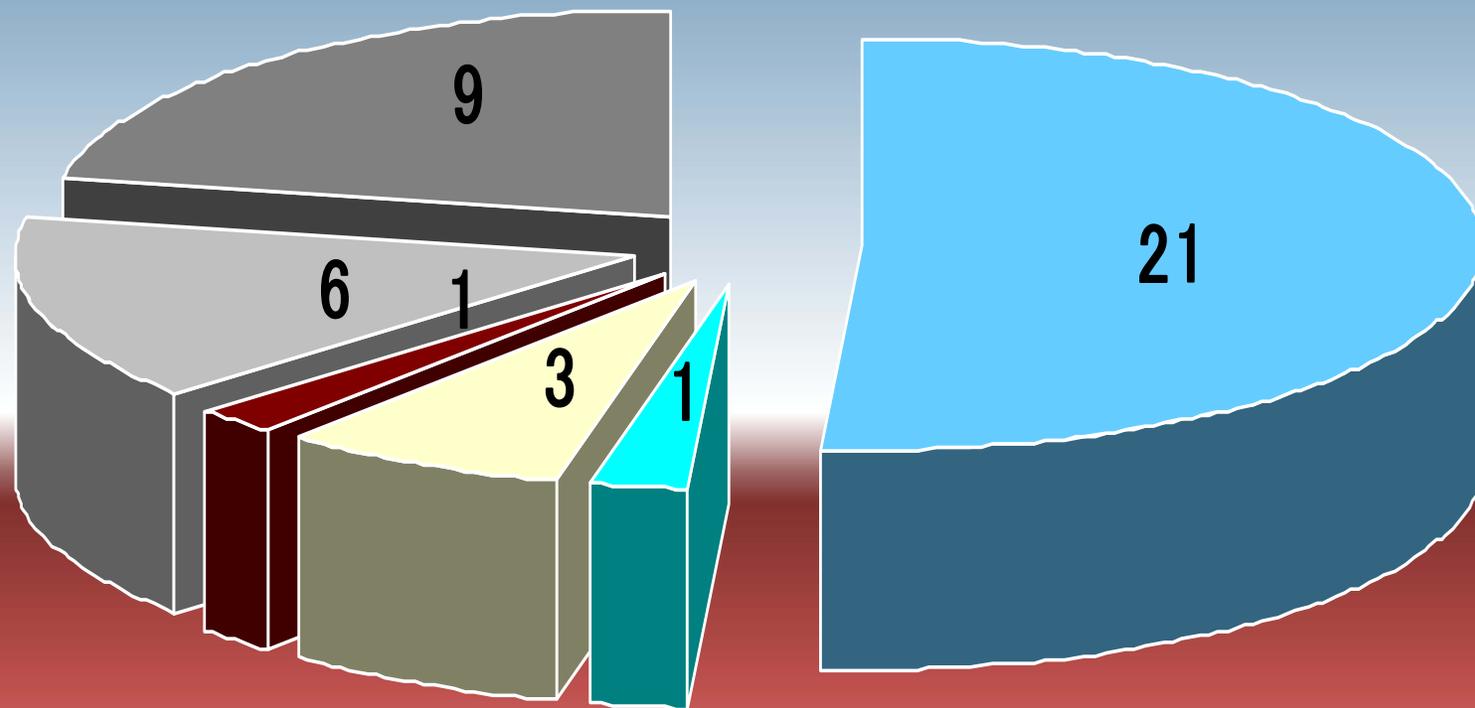
ビジネス支援サービス実施状況



ビジネス支援サービス実施館数の変化



ビジネス支援サービス実施状況(都道府県立)



■ 実施 ■ 準備中 ■ 計画中 ■ 検討中 ■ 未実施 ■ 未検討

検討中145館の内容(複数回答)

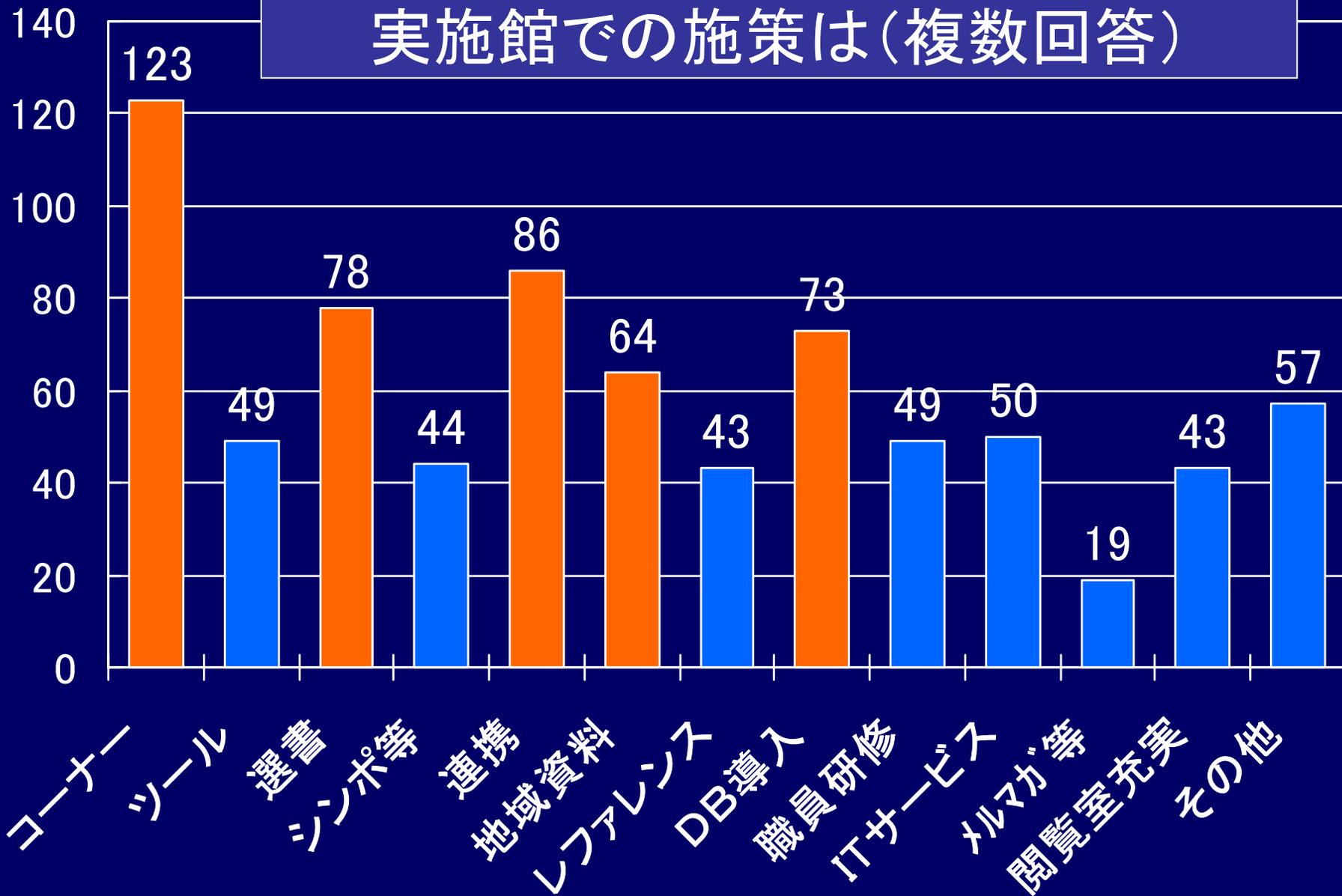
- サービスの必要性の把握 57館
- サービスについてよくわからない 33館
- 予算がない 80館
- 人的な負担 90館
- その他 39館

(「スペース確保」11館、「サービス範囲」9館、
「理由無」3館、「スキル」、「連携」各4館)

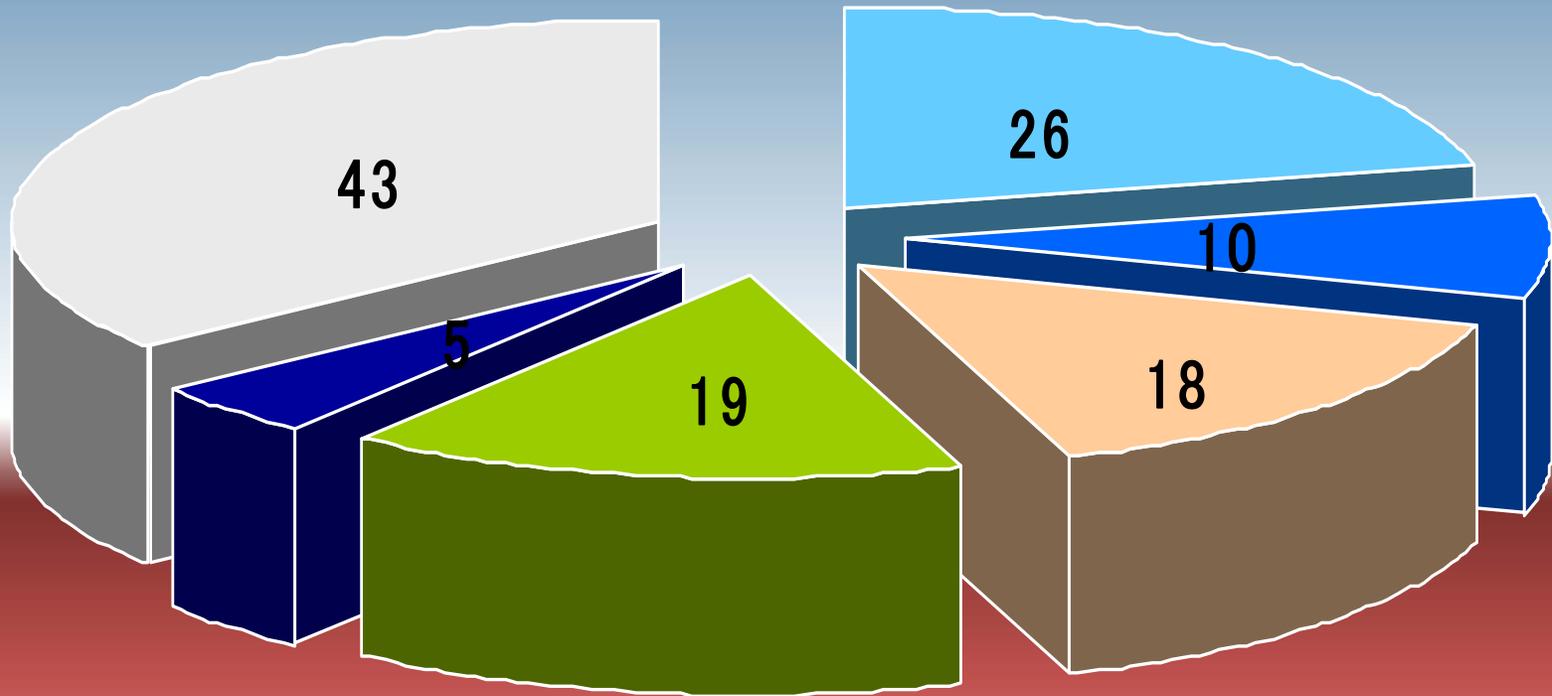
未実施56館の理由(複数回答)

- サービスの必要性が少ない 18館
- サービスについてよくわからない 4館
- 予算がない 27館
- 人的な負担 30館
- その他 25館
(「スペース不足」10館、「通常サービスで」5館等)

実施館での施策は(複数回答)



実施館での予算は

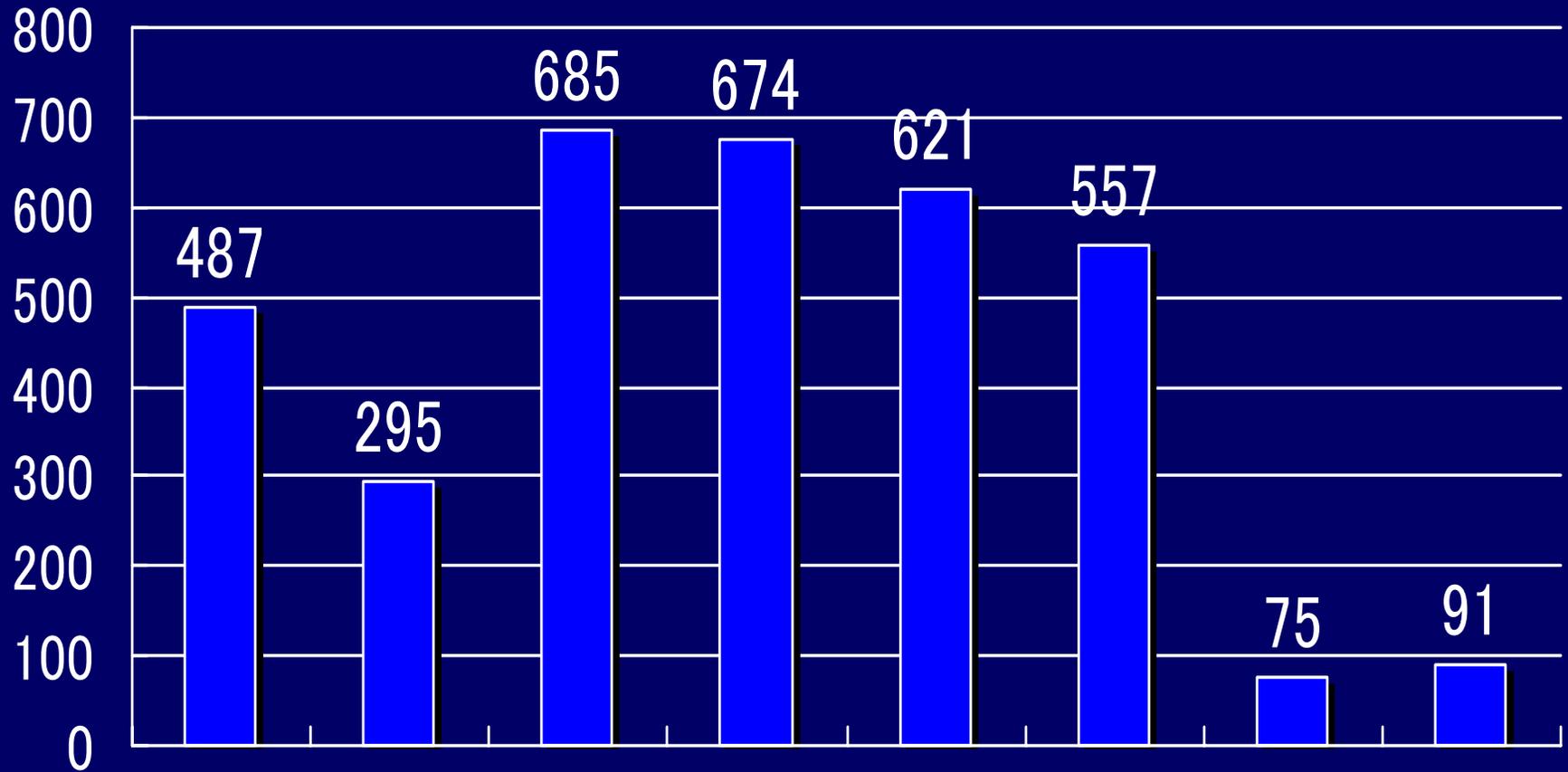


■ 予算無 ■ 1~10万円 ■ 10~50 ■ 50~100 ■ 100~ ■ 不明等

効果について フリーコメント

- 間接的な効果については時間が必要
- 支援サービスの結果、起業者が現れた
- 職員の意識改革があった
- コーナーの利用がある 貸出増
- レファレンスへの波及がいまいち
- 従来サービスでは評価がわかりにくかったがビジネス支援ではPlan. Do. Seeが見える

ビジネス支援の課題は（実施館：複数回答）



関係者理解

利用者

研修

予算

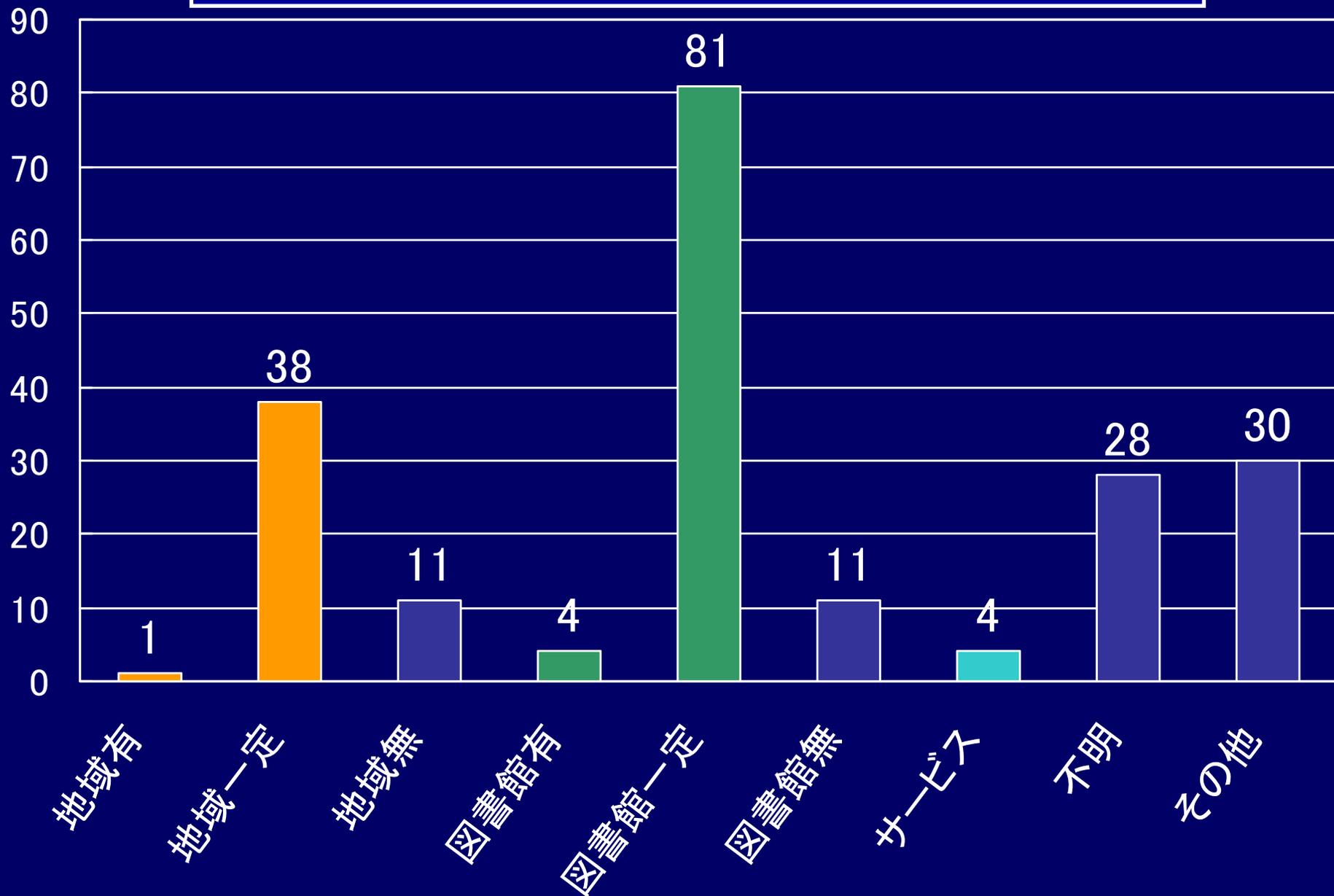
人

スペース

ボランティア

その他

実施した効果は（実施館：複数回答）



課題について フリーコメント

- 小規模館で実施すると本来業務ができない
- 大都市周辺でしか需要がない
- スキルがない
- 関係者の理解（職員の意識も含め）
- 体制の確立（行政や図書館内）
- サービスとしてわかりにくく、説明しにくい
- 従来資産を活用すればサービス可能
- 説明責任に対する免責等法的整備が必要

推進協議会への要望(全図書館 複数回答)

